

普及活動情勢報告（平成27年6月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

農業関係事業への理解を深めよう！



集落営農をする普及指導員

5月26日はJAグリーンはるの、6月2日はちばさんセンターを会場とし、「高知市農業関係施策説明会」が開催されました。これは高知市や農業委員会、各JA、園芸連、普及所等関係機関で構成する高知市担い手協議会が企画・運営した会で、認定農業者を対象に、平成27年度に高知市で実施される事業等の説明をしました。

普及所は、事前に担い手育成の関係事業を始めとする説明会の組み立てや県関係の説明者の手配等を、当日には集落営農に関する説明を担いました。

しかし、両会場とも参加者数が少ないという課題が残ったため、今後は来年度の開催方法について、関係機関と協議していきます。

施設ピーマン、次作でも天敵を上手に使おう！



バンカー植物を確認をする部会員

5月29日、長浜ピーマン部会の現地検討会が開催されました。普及所は収穫が終盤の各ほ場を一緒に巡回し、「定植遅れが収量低下になったので次作は遅れないようにする」等の意見が出たので、今年の結果を踏まえた来年の対策について指導助言しました。

また、現在の天敵を繁殖維持させ次作にも利用できるようにする天敵温存ハウスの状態も確認しました。ソルゴーやナスなどの天敵が集まり易いバンカー植物の生育や、天敵の餌用のアブラムシを皆で放飼する等、利用のための準備を着々と進めました。

普及所はこれから次作が始まるまでは、天敵温存のための管理について指導助言を行います。

露地ニラの出荷が始まります



みんなで規格の確認

6月1日に、JA高知市丸城園芸部ニラ部会の目慣らし会が開催されました。本格的な出荷の前に生産者全員で葉の長さ等の規格を確認し、「消費者からクレームが出る異物混入に注意しよう！」と話し合いました。

普及所は、露地ニラで混入し易いナメクジの防除対策と夏場の葉先枯れについて注意点を説明しました。

今後、9月に予定されているJA高知市介良支所との合同研修会の調整と、現地巡回によるかん水と病害虫管理等の指導を行い、ニラの安定生産を支援していきます。

露地ピーマンの現地検討会～さらなる収量アップのために～



熱心に説明を聞く生産者

6月5日に、生産者10名の参加で、JA高知春野の露地（雨よけ）ピーマンの現地検討会が開催されました。春野地域での露地ピーマンの栽培は経験の浅い生産者が多く、栽培管理の徹底が必要で、普及所からは、①7月20日以降、赤ピーマンで出荷するので樹勢を強めに管理、②養分吸収量に応じた肥料を与える、③天敵の使用方法等栽培のポイントを指導しました。生産者から「バンカー植物のクレオメを植えて天敵を利用したい」、「適正な施肥管理を行い収量アップに努めたい」という声がありました。

今後、普及所は巡回指導で、天敵利用のための天敵と害虫の発生推移調査と、樹勢の維持のための管理の指導を行っていきます。

トマトの生産安定に向けて！



室内での勉強会

6月9日に、生産者10名の参加で、JA高知春野トマト部会の勉強会が開催されました。

普及所からは天敵利用栽培試験と炭酸ガス施用試験の結果報告をしました。質疑応答では、生産者からは「天敵を使用し始めて他の害虫が発生するようになった」、「炭酸ガスは高糖度トマトでも通用するのか」という意見が出ました。また、すでに炭酸ガス施用を行っている生産者から施用方法と施用に伴う栽培管理のアドバイスも出ました。

今後も、普及所は関係機関と連携し、上記の課題の解決や技術の確立を行い、トマトの収量アップに努めていきます。

農村女性リーダーがお宅訪問 ～春野のキュウリ栽培を勉強～



説明をする春野の女性リーダー
（手にはキュウリを持っています）

6月11日、高知地区農村女性リーダー協議会が、メンバーの生産現場を毎年訪ねて、お互いの農業経営について勉強し合う「お宅訪問」を12名の参加で開催しました。普及所は春野の女性リーダーと協議し、今回の生産現場は春野のキュウリとし、「せっかくの機会だからJAの選果場も見よう！」という意見に、JA高知春野に掛け合って、見学を組み込みました。選果場を見た後、キュウリのハウスでは天敵利用栽培についてリーダーから説明を受け、皆さん、熱心に質問をしていました。

また、今後の会の活動について協議し、夏に視察研修を行うことになりました。普及所は今後も農村女性リーダー達の活動をバックアップしていきます。